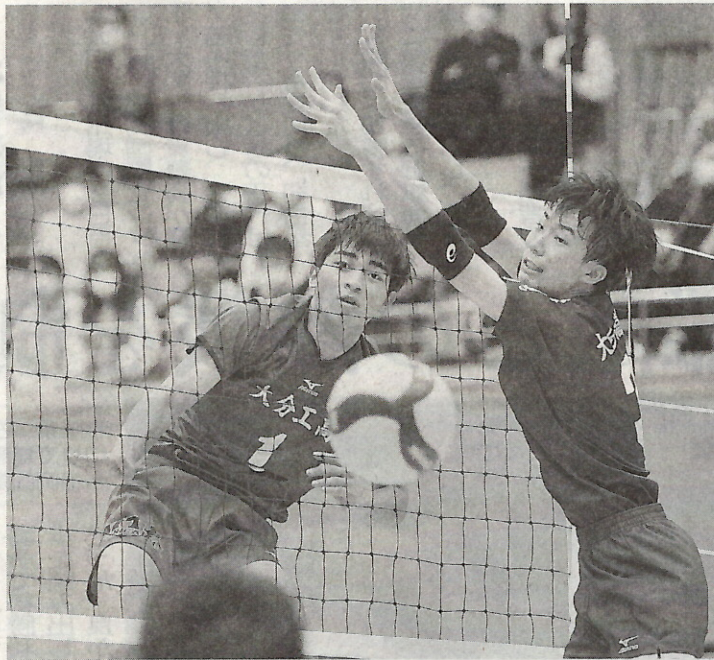


全日本高校バレー県代表決定戦



【大分工―大分南】第3セット、スパイクを決める大分工の相良（左奥）
||ダイハツ九州アリーナ、撮影・首藤洋平

男子・大分工

男子は3年生が力を出しきった大分工が大分南に競り勝ち、2年連続の全国切符をつかんだ。一進一退の攻防を制し、江崎裕之監督は開口一番に「きつかった」と振り返った。

【男子▽決勝】
大分工 3 25252425
大分南 1 21192623
【大分工】
相良光藤 村岡島中川 藤野 垣藤
相良 首屋 藤中 田中 小後 小槍 須

大分工は序盤から利光遠紀（3年）、藤間悠太に脱していた居村が出場直後に連続得点を決め、流れを引き寄せた。「とくに決まり、エースの相良琉か、試合に出たかった。」と江崎監督も苦労人将が全身をつり、コートを退くと一時は逆転され敗退だった。相良主将は「高雪辱を果たすため、」

苦労人が窮地救う

第75回全日本バレーボール高校選手権県代表決定戦最終日は13日、中津市のダイハツ九州アリーナで男女の決勝があった。男子は大分工が3-1で大分南に勝利し、2年連続30回目の優勝。女子は東九州龍谷が3-1で大分商を下し、23年連続38回目の頂点に立った。男女の優勝校は本大会（1月4日開幕・東京体育館）に出場する。

（佐藤光里）



優勝した大分工の選手たち